

平成 26 年第 10 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 26 年 10 月 28 日（火） 14 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 5 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 内 藤 堯 雄
委 員 市 場 かおり
委 員 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
教 育 長 松 本 直 行

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	後 藤 倫 明
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

議案第 39 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 39 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

文化スポーツ課長より、文化財保護に関する条例第 18 条の規定により、次の者に文化財審議委員を委嘱することについて説明する。任期は、平成 26 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の 2 年間である。委員は、別紙のとおり継続でお願いしている。

教育委員より、審議会は年間何回行うのか、また委員の住所が広範囲であるが会合を開く

のに支障がないのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、審議会は年最低2回であるが、文化財の指定等があれば随時集まってもらう。審議委員は、市内の方々に全ての分野を網羅できればいいが、市内で見つけることができなかつたので、今までお世話になった方の中からお願いしている。住所が遠方の審議委員の方は、日程調整を行い参加しやすくなるように配慮していると回答する。

9. 議決事項

議案第39号 加西市文化財審議委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

平成26年度兵庫県市町村教育委員会連合会 第2回常任理事会が10月1日に開催された。任期を終えられた前会長の後、会長代行が就任された。新しい会長は、平成27年5月に開かれる総会で決定される予定である。また、会則の改正について、第6条の「役員は、教育委員会委員の中から」が「役員は、教育長及び教育委員の中から」に改正される予定である。

近畿市町村教育委員研修大会が10月20日開催され、「教育委員会制度改革について」と題して、文科省初等中等教育局 初等中等教育企画課 企画官より講演があり、新しい教育委員会制度の成立までの経緯及び新制度の概要について説明があった。

10月13日に、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会に出場された方に、そして22日に、全国障害者スポーツ大会に出場される方に、その努力と栄誉を称え、加西市文化・スポーツ賞賜金を贈呈した。

研究発表会について、10月16日「個に応じた指導を充実させ、自ら学び考える力を育成する」をテーマに、「東播磨・北播磨地区中学校教育研究会数学科研究大会」が北条中学校で開催された。また、昨日は、「他を思いやり 共に伸びる ころころ豊かな生徒の育成」をテーマに「道徳教育研究発表会」が泉中学校で開催された。公開授業、実践発表、講演等を通して、たくさんのお話を学ぶことができたと思う。今後の研究会は、10月30日、国語科学習指導研究発表会が北条東小学校で、11月7日・8日、幼児教育研究発表会が九会幼稚園で、そして、11月12日、算数教育研究発表会が宇仁小学校で開催される。

新聞でも取り上げられていますが、西在田小学校が優れた環境教育に取り組む学校を対象にした「グリーンスクール表彰校」に選ばれ、県知事より表彰を受けた。

(2) 教育次長から

平成27年度に予定する市長マニフェストの23事業について報告を行う。教育総務課は、教育施設耐震化事業として、富田・西在田小学校地震改築工事、九会小学校北校舎・下里小学校北校舎・賀茂小学校校舎耐震補強工事、非構造部材耐震対策工事。それから教育施設環境整備工事、情報環境整備事業の3点をあげている。

学校教育課は、学校づくり応援事業を活用した特色ある学校づくり、個に応じたきめ細かな指導の充実のためのスクールアシスタント・ヤングアドバイザー、さらに来年度から介助員の配置も要望する。ALTの配置と外国語活動・英語科指導のスムーズな展開、新規として地域人材を活用した放課後の補充学習の展開等の6点をあげている。

こども未来課は、幼保一体化を計画的に実施するとともに特色ある新たな幼保施設の整備として、九会幼児園と別府幼児園の統合による整備。安心して子育てができる施策を展開し、子育て支援を充実するという事で北条東学童棟建設、さらに幼保施設の全保育室での空調機器設置の2点をあげている。

文化スポーツ課は、社会教育施設またスポーツ体育施設整備事業として7点、主なものは、善防公民館空調設備修繕工事、ぜんぼうグリーンパーク整備事業、勤労者体育センター耐震補強工事、すぱーく加西施設改修事業、また市民グラウンドトイレ設置等をあげている。

図書館としては、2点で学校図書館等へのコーディネーター配置、青野原俘虜収容所設置100周年記念事業をあげている。

総合教育センターは、教職員研修の充実、小中連携教育の推進、そしていじめ防止基本方針に基づくいじめの未然防止の取組の推進の3点をあげている。

10月20日に、市長部局から予算編成方針として、5項目の基本方針があげられている。教育委員会関係としては、子育て支援の充実と教育環境の整備をあげている。学校教育施設耐震化事業、幼保一体化計画の推進、特色ある子育て支援施策の実施、そして特色ある学校教育の推進、この4点が大きな柱となっている。

教育委員より、介助員の配置、子供たちの予定及びひょうごがんばりタイムの活用について質問があり、学校教育課長より説明する。介助員について、新一年生で来年度入学する児童の中に、身体的な部分で特に支援が必要な児童が通常学級に1人入学する予定である。もう1人は特別支援学級に入学する予定であるが、肢体不自由で、すでに児童が多くいるの中に加えてその子が入ることによって、児童が4人になった時に目が届くかという状況を考えて、最低2人が必要と考えている。ひょうごがんばりタイムの活用は、県の事業として放課後に子どもたちが地域の協力者を得ながら学習を深めていく取組である。対象としては中学校3年生の2学期後半に進路に向けて頑張っていく時期に補助学習を取り入れることを考えてい

る。4 中学校すべてに配置していきたいと考えている。

教育委員より、補充授業の講師にはどのような方を考えているのかとの質問があり、学校教育課長より、地域の方で協力いただける方と、ヤングアドバイザーを考えていると回答する。

教育委員より、文化祭の代替事業を行うのは、来年度だけの事業なのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、文化ホールの改修は、平成27年度から平成28年度で、その後2ヶ年かけてコミュニティーセンターの耐震工事を行う計画である。一時期、現在開催しているすべての部門の事業を行うことは困難と考え、各協会と相談し既存の施設をそのまま使えない状況で市民のニーズを考えながら、どのような事業ができるか今から調整すると回答する。

教育委員より、来年度プルマンへ中学生・高校生を派遣するということであるが、中学生は義務教育であり教育委員会の範疇と思う。しかし、その派遣について予算措置がされていないので、何処の管轄で行われるのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、ふるさと創造部秘書課で12月議会に補正予算を上げるため調整している。予算は、加西市の人材育成基金の活用を考えている。派遣にかかる旅行業者の選定、ルートの選択も協議を進めており、事業の担当は秘書課であると回答する。

教育委員より、教育委員会は派遣の内容・人物の選考については関与しないのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、従前は面接について教育長か教育次長が担当していた経緯があるので、今後検討することになると回答する。

教育委員より、英語教育について、英語を話すことは楽しいものであることを子供に経験させてもらいたいので、授業の展開や全体の施策を考えてもらいたい。予算的にこのようなところに力を入れているという箇所があれば説明してもらいたいと要請があり、学校教育課長より、ALTの配置と外国語活動、英語科指導のスムーズな展開と支援についての項目をあげている。ALTについては業者と3年契約を結んでおり、業者と教育の充実について話し合っている。兵庫教育大学とも連携し英語教育の推進を行っていると説明する。

教育委員より、ALTの雇用については、TTの授業ができるかできないか、打ち合わせがやりにくい面については会社によって異なることを感じた。子供たちにとっていい人物を派遣してもらえるように要望する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化事業等の進捗状況について報告をする。

富田小学校南校舎地震改築工事は、基礎工事に入っている。九会小学校南校舎は、内部を音楽祭に合わせて使うために、部分引き渡し検査を行い75%の出来高である。善防中学校体育館耐震補強工事については、内部の引き渡し検査を今週行う予定であり、体育機器の取り付けと外構工事を行っている。富合小学校北校舎耐震補強工事については、1階は開放し、

2階は内装改修工事中である。北条東幼児園整備工事は、南園舎はほぼ完成しており、移転してから北園舎の改修工事を行う。

設計業務について、九会小学校北校舎、下里小学校北校舎、賀茂小学校校舎耐震補強工事設計と、西在田小学校地震改築工事設計委託業務は、実施設計を進めている。善防公民館空調設備改修工事と宇仁小学校渡り廊下設置工事は入札準備にかかっている。教育施設天井等非構造部材落下防止対策工事設計は、現地調査が終わり実施設計を行っている。富合小学校プール塗装改修工事は完成し、来週検査を受ける予定である。加西中学校屋外環境整備工事は、現在準備中である。計画通りすべての事業が進んでいると報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、「全国学力・学習状況調査の報告」について報告する。昨年度までは12月のかさい教育ねっとや教育委員会ホームページ等で分析結果を公表していたが、今年度は、結果を分析・考察してできるだけ早い時期に公表することにより、学校・家庭・教育委員会でもっと早く改善策に取り組むことができるように、11月の区長発送にて全戸回覧、児童・生徒には全戸配付、公的機関にも設置させていただき公表する予定である。これまでは、学校教育課で分析を行っていたが、今回からは環太平洋大学の教授と総合教育センターの所長補佐にも協力していただき、多面的に分析・考察している。昨年度と構成を変え、以前は項目内容だけを表記していたが、今回からは項目内容だけでなく教科ごとに平均正答率をグラフ化したり、領域ごとにグラフ化したりして、できるだけ市民にわかりやすく作成した。紙面の構成として、最初に全国学力・学習状況調査のねらい、調査対象、調査内容を説明することにより、当該調査のことを知らない方にもわかるようになっている。また、小学校6年生と中学3年生に分けて、教科ごとに全国平均と加西市の比較をグラフにしている。領域ごとに比較することにより、児童・生徒がどの力を身に付けていくことが大事なのかが見えてくるし、どういった学習内容が課題なのかがわかる。次に、生活習慣や学習習慣について、平成22年度と平成26年度の加西市と平成26年度の全国の結果を表示しており、加西市の経年比較ができるように、また、全国と比較できるようにしている。状況として、「朝食を毎日食べている」の基本的な生活習慣については以前より高い。「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」には肯定的な回答が多く、規範意識が高い良好な状況である。「国語の勉強は大切だと思う」「算数・数学の勉強は大切だと思う」「読書が好きである」は学習への意識や関心を問う内容であるが、肯定的な回答が多かった。しかし、中学校の数学に対する有用感においてやや低いところが見えてきている。このあたりが今後の課題である。さらに中学校では、「将来の夢や目標を持っている」「自分には良いところがあると思う」「地域や社会で起きている問題や出来事に興味がある」が低い状況になっている。これらのことから「自立心」「自尊感情」

「社会参画意識」を育んでいくことが重要であることも明らかとなった。全国的な傾向であるが、加西市でもテレビやゲームに費やす時間の増加と連動し、自分で計画して学習する習慣が定着しにくい状況がある。最後に、加西市が行っている特色ある学力向上の取組について、小学校と中学校に分けて上げているが、さらに今後は、「加西っ子の生活習慣あ・い・う・え・お」運動の啓発や家庭学習ハンドブックのさらなる活用、市立図書館との連携による読書活動の拡充、生活習慣や学習習慣の定着を図るなどの効果をねらった小中連携の推進、自ら生涯を見据えて学ぶ意義や目的を見い出すための体験活動の充実など、学校・家庭・地域が協力し合い、高めていけるように、学力向上に繋がるように取り組んでいく。これらの内容は隣保回覧に加え、市のホームページでも公表予定であると説明する。

次に、加西市教職員の長期研修及び在外教育施設への派遣状況について報告する。前回の教育委員会で教育委員の方より質問を受けたので調査を行った。大学大学院への現職教員派遣では、平成7年度が一番早い時期に研修を受講しているため、平成7年度以降調査を行い、兵庫教育大学大学院に男性6名、女性6名、計12名、大阪教育大学に女性1名の合計13名を派遣した。13名の内、過去10年以内に派遣した教員は8名、内3名は現在指導主事である。また、在外現職教員派遣では、ブータン王国へ青年海外協力隊として男性1名を派遣した。これらの派遣経験を活かした活動として、総合教育センターにおける研修講座及び初任者研修等研究会・研修会の講師、教科等指導員（北播磨管内）、発達支援プログラムでの指導、自主研修グループの立ち上げ・運営、高等学校での講演、公民館での子育て研修講座コーディネーター等があり、様々な研究会・研修会に関わっていただき活躍してもらっていると説明する。

教育委員より、大学大学院等への派遣が、20年間で13名ということで、約1、2年に1名という割合である、思ったより少ないという印象である。希望者が少ないのか、希望しても選考の段階で受からないのかわからないが、意欲のある方が研修をして、帰ってきてから様々な活動で還元してもらっているという、良い循環ができている。教育委員会として、より意識的に、計画性を持って今後一層充実させてほしいとの要望がある。

教育委員より、全国学力・学習状況調査について、見開きの黄色い網掛け部分は総括なのかとの質問があり、学校教育課長より、そのとおりで、領域別の定着の見られる箇所と課題の見られる箇所の具体的例であると回答する。さらに教育委員より、白いひし形と黒いひし形で定着が見られた項目と課題の見られた項目を表してあり、分かりやすくなっている。定着傾向が見られた問題例と課題の見られた問題例にも白と黒のひし形が使われているが、これは必要ないのではないかと質問があり、学校教育課長より、統一したマークを付けるほうが見やすくなると思い、あえて白と黒のひし形を使用していると回答する。

教育委員より、生活習慣や学習習慣について、平成22年度の加西市の実績が掲載されているが、全国は掲載されていないのはなぜかと質問があり、学校教育課長より、あまり数字ば

かりに掲載すると分かりにくいかと思ひ掲載していない。当初は加西市の平成22年度分も掲載するかどうか検討したが、加西市としての経年変化を見ていくということで意義があると思ひ掲載したと回答する。さらに教育委員より、生活習慣や学習習慣の調査結果において、低い数字の項目についてはどうするのかとの質問があり、学校教育課長より、報告の最後にあるように、朝の学習タイム等を利用して、プリント学習を行う等、すでに取り組んでいるが、まだ成果が出ていない。アンケート結果から自尊心が低い、それは生真面目で、自分を引いてしまう傾向があるのではないかと推測される。調査結果を学校にも報告するが、学校へはもう少し具体的な内容で伝える予定である。そうすることで教員も具体的な対策を講じることができる。各学校でも市からの報告を基に分析を行ってもらい、学校だよりや学校のホームページで公表する予定であると回答する。最後に教育委員より、専門家の方が見られるとわかりやすいのかもしれないが、保護者の方が見られたときに、低い数値項目についての対応にも言及してあればよいのにとの意見がある。

(5) こども未来課長の報告

こども未来課長より、認定こども園整備（愛の光幼稚園）にかかる補正予算案について、愛の光幼稚園が、平成27年度より幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園に移行するにあたり、調理室の設置、空調等の整備を行うこととなった。施設整備は、県の補助制度を活用し、事業費の半分を県が、1/4を市がそれぞれ負担するため補正予算を組むことになった。しかし、12月議会では、来年4月開園に工事が間に合わないため、臨時議会での補正予算となったと報告する。

次に、平成27年度の保育所、幼稚園等の入所案内について報告する。11月広報にも掲載予定であるが、来年度より制度が大きく変わるため再度説明する。保育所と幼稚園の募集を同時期（11月1日）より行う。募集にあたっては、子どもの年齢と保育の必要性の有無により1号、2号、3号の認定を受ける必要がある。1号認定は幼稚園等の教育を受ける子どもが対象である。2号・3号認定は従来どおり保育の必要性がある子どもが対象である。保育の必要性についての変更点として、これまでは、保育の必要がある証明として、両親と同居の祖父母の勤務証明又は保育に欠ける証明が必要であったが、今回より両親の証明だけでよくなった。また、農業に従事されている方については、これまで証明の必要はなかったが、今回からは農業により収入を得ていることがわかる証明書を添付する必要がある。さらに、求職中の方も保育所の利用が可能であるが、求職中のまま無期限で子どもを保育所に通わせている方もいたので、3ヶ月の期限を設けて、再度申請または証明書を提出してもらう必要がある。最後に、市内の保育所・認定こども園・幼児園・幼稚園の一覧をもとに、教育利用、保育利用の区分、1号認定、2号認定、3号認定の子どもの受入の有無等の説明をする。

教育委員より、認定こども園の整備について、日程が差し迫った時期になっているが、大規模な工事ということで事前に計画され、調整もされているとは思いますが、ぎりぎりに申請があった理由は何かとの質問があり、こども未来課長より、愛の光幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行するという方針を決定したのが8月中旬であり、保育を行うためには給食施設の整備を行う必要があったため、県とこども未来課で協議を行い、了解を得たのが9月末日のため9月議会での補正に間に合わなかった。しかし、12月議会では、来年4月開園に工事が間に合わないため、臨時議会での補正予算となったと回答する。教育委員より、加西市だけでなく、全国的にこども園化、幼児園化が進んでいる。時間はあまりないかもしれないが、現場や各関係機関と話し合いの場を持っていただき、より良いものをつくっていただきたいと要望がある。

(6) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、第48回加西市文化祭の開催について報告する。8つの事業が11月2日・3日を中心に11月中に行われる。アステシアかさいでも事業は開催されるが、ほとんどが、市民会館・コミュニティセンターが開催場所である。来年は市民会館の耐震工事が予定されており、いままでの形でできる文化祭は最後かと思う。次回からは試行錯誤しながら良い形の文化祭を考えていきたいと説明する。

次に、風土記記念事業特別展示「加西市の奈良時代寺院と石仏」並びに「『播磨国風土記』と加西」について報告する。加西市播磨国風土記1300年祭実行委員会と加西市、加西市教育委員会との共催である。加西市埋蔵文化財整理室において、「加西市の奈良時代寺院と石仏」の展示が、11月1日から11月30日まで無休で行われ、加西市役所1階市民ホールにおいて、「『播磨国風土記』と加西」の展示が11月4日から11月28日まで平日のみ行われると説明する。

(7) 図書館長の報告

図書館長より、第一次世界大戦開戦100年と青野原俘虜収容所展について報告する。1915年に加西市青野原に俘虜収容所が設置されて来年で100年を迎える。それにあたり、オーストリア大使館、神戸大学、EUIJ関西、加西市の共同事業として、「第一次世界大戦開戦100年と青野原俘虜収容所一箱庭の中央ヨーロッパ」展を開催する準備を進めている。このオープニングの開会式として講演・観劇が、10月30日に神戸大学で行われ、オーストリア大使、加西市長、神戸大学関係者等の出席予定である。今後の流れとして、写真パネル、第一次世界大戦のきっかけとなったオーストリアからセルビアへの宣戦布告書、俘虜の製作品等の展示が11月10日から11月28日まで神戸大学にて開催される。加西市からも俘虜収

容所の棟札、藤川氏宅の絵画を出展する。11月12日には俘虜収容所で演奏されたものを中心に記念音楽会が神戸大学で開催される。加西市、青野原町、加西市議会、藤川氏にも案内がある。11月に展示される俘虜の製作品等を、来年の2月1日から2月20日まで、加西市立図書館内でも展示する予定であると説明する。

(8) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、平成26年度「いじめ防止運動」作品展について報告する。応募件数は標語1,147点、ポスター316点の計1,463点であった。入賞作品展を市役所1階玄関ロビーにて10月6日から21日まで開催した。また、同作品の持ち回り展を市内各小・中・特別支援学校で行う予定である。優秀作品については、2015年青少年健全育成カレンダーに掲載する。多くの応募があり、良い作品がたくさん賞を受けている。このことにより、児童・生徒が、いじめに対して正しく認識し、いじめを防止しようとする意識の高揚を図っていると説明する。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、全国学力・学習状況調査について、加西っ子は「社会参画意識」が低いという調査結果が出ているが、中学3年生においては、平成22年度と比較して、12.4ポイント下がっている。中学生については、一番下げ幅が大きい。加西市にある歴史的財産等を通じて、生徒や先生が地域や社会に関心を持ってもらえればと思う。また各学校にも文化スポーツ課や図書館等が開催する歴史や文化に関する事業の案内をしてもらいたいと要望がある。

教育委員より、楽しい英語を話す雰囲気という観点から工夫を凝らして着実に取り組んでもらっている。加西市内の学校全体の英語に対する現状を十分に把握して、スピーチコンテスト、暗唱大会、単語の書き取りコンテスト等、英語を楽しみながら、年度ごとに施策を行ってはどうかとの意見がある。

13. 今後の予定について

・平成26年第11回定例教育委員会 11月25日(火)14:00～ 市役所5階大会議室

・平成 26 年第 12 回定例教育委員会 12 月 24 日（水）13:30～ 市役所 1 階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 26 年 10 月 28 日

出席委員

(出席委員署名)